

【報告事項】

1 令和7年上半期の治安概況について

（警務部）

警察本部から、令和7年上半期の治安概況として、福岡県警察の活動重点であるニセ電話詐欺及びSNS型投資・ロマンス詐欺対策の推進、暴力団及び匿名・流動型犯罪グループ対策の推進、飲酒運転・交通事故抑止対策の推進、性暴力・児童虐待への的確な対処、サイバー空間の脅威への的確な対処、重要凶悪事件の徹底検挙、災害・テロ等の脅威への的確な対処について、それぞれの推進状況及び今後の取組に関する報告があった。

公安委員から「交通事故に関しては、発生件数、死者数が共に減少しているが、どのような取組が功を奏しているのか。」旨の発言があり、警察本部から「交通事故は約5割が交差点付近で発生しており、交通事故に直結する違反の取締りを中心とした地道な対策の成果が少しずつ現れているものと考えている。」旨の説明があった。

公安委員から「暴力団の資金獲得犯罪の特徴的傾向はどのようなものがあるのか。」旨の発言があり、警察本部から「薬物事犯やみかじめ料の要求等の伝統的な犯罪に加え、ニセ電話詐欺や風俗関連事案等も敢行している。」旨の説明があった。

2 令和7年度第1四半期における監察実施結果について

（警務部）

警察本部から「本部所属6所属及び警察署12所属に対する総合監察と延べ24警察署、121交番等に対する随時監察を実施した。総合監察の良好事項として、工夫したハラスメント防止教養の実施、指導事項として捜査情報等の管理不徹底等があった。また、随時監察では指摘事項として留置場事務室における保管庫の無施錠があった。」旨の報告があった。

公安委員から「工夫したハラスメント防止教養とは、具体的にはどのような教養をしたのか。」旨の発言があり、警察本部から「業務主管課が発出した教養資料を基に択一式問題を作成して、継続的に教養の効果測定を実施していた。」旨の説明があった。

3 令和7年上半期の懲戒処分状況について

（警務部）

警察本部から「令和7年上半期の懲戒処分者は3人、前年同期比マイナス9人である。処分種別は、免職、停職、減給が各1人であり、業務上の事案が1件、私行上の事案が2件である。」旨の報告があった。

公安委員から「防止対策としてどのような取組をしているのか。」旨の発言があり、警察本部から「職務倫理教養に加え、年代別・階級別のグループ検討会を実施し、職員一人一人に非違事案防止について考えさせている。また、兆しを把握した職員から報告が迅速に上がってくるような職場環境の醸成に努めている。」旨の説明があった。

4 大牟田市におけるガス漏出事案の発生について

(刑事部)

警察本部から「7月27日午後5時30分頃、大牟田市所在の工場において、何らかの原因により有害性のある塩素系ガスが漏出し、多数の体調不良者が生じた。110番通報によって本件を認知した大牟田警察署では、消防と共に異臭の発生源を確認するとともに、被害の拡大防止を図るため、広範囲な交通規制及び付近住民等へのマイク広報を実施した。今後も原因究明を図るとともに、知事部局等とも連携を図りつつ、再発防止に向けた諸対策を推進していく。」旨の報告があった。

公安委員から「そもそも工場では不具合が生じていたのか。」旨の発言があり、警察本部から「定期点検は実施していたと聞いているが、点検方法や点検周期等については、今後調査をしていかなければならない。」、「まずは行政機関が原因を究明し、必要な指導や処分を行うなど、再発防止を図っていただかなければならないと考える。その中で、行政処分等だけではなく、刑事罰が必要なのかを考えていかなければならない。」旨の説明があった。

5 組織窃盗（空き巣等）事件の捜査終結について

(刑事部)

警察本部から「春日警察署ほか4警察署及び捜査第三課並びに熊本県警察及び宮崎県警察は、令和4年7月から令和6年10月までの間、福岡県及び宮崎県内において、一般住宅に侵入するなどして現金等を窃取したとして、飯塚市居住の建設業の男性ほか8人を順次検挙した。組織実態を解明の上、空き巣等事件20件、被害総額約2,268万円相当を確認し、捜査を終結した。」旨の報告があった。

公安委員から「長期間の捜査となった理由は何か。」旨の発言があり、警察本部から「発生地区は防犯カメラの設置が少なく、地道な情報収集となった。」旨の説明があった。

6 貸金業法違反の検挙について

(暴力団対策部)

警察本部から「飯塚警察署ほか2警察署及び暴力団犯罪捜査課は、福岡県知事の登録を受けず、前後4回にわたり、借受人4人に対し、金銭を交付する方法により、合計630万円を貸し付け、無登録で貸金業を営んだとして、7月24日、五代目工藤會傘下組織幹部の男性ほか3人を逮捕した。」旨の報告があった。

7 職業安定法違反事件被疑者の逮捕について

(暴力団対策部)

警察本部から「博多警察署ほか2警察署及び暴力団犯罪捜査課は、令和4年6月7日、福岡市博多区所在の飲食店において、無店舗型性風俗特殊営業店の経営者に対し、同人が雇い入れた女性に不特定多数の男性客を相手に対価を得て性的類似行為をさせる業務に就かせることを知りながら、女性を紹介して雇用させたとして、7月31日、六代目山口組傘下組織幹部の男性ほか2人を逮捕した。」旨の報告があった。

8 福岡県自民会館に対する建造物損壊事件被疑者の逮捕について

(警備部)

警察本部から「博多警察署及び公安第一課は、7月22日午後3時35分頃、福岡市博多区所在の一般財団法人福岡県自民会館において、同所設置のエントランス出入口ドアに対し、所携の缶スプレーを用いて赤色の塗料を吹き付けたとして、7月24日、福岡市中央区居住の無職の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「本件は単独犯行の事件か。」旨の発言があり、警察本部から「現時点、単独犯行とみて捜査をしている。」旨の説明があった。

【その他報告事項】

1 身元不明死体の発見について

(刑事部)

警察本部から「8月6日午前10時20分頃、福岡市東区西戸崎付近の海岸において人体の右下肢、同日午後7時15分頃、福岡市東区みなと香椎付近の海上において人体の頭部、胸部、右上肢が発見された。今後、未発見部位の捜索を進めることはもとより、発見した死体を司法解剖するなどして、事件と事故の両面から捜査を進めていくこととしている。」旨の報告があった。